

1. 評価結果概要表

作成日 平成22年2月25日

【評価実施概要】

事業所番号	0972300560		
法人名	医療法人木水会		
事業所名	グループホーム八州苑B館		
所在地	栃木県下都賀郡藤岡町太田1395 (電話) 0282-61-1151		
評価機関名	社会福祉法人栃木県社会福祉協議会		
所在地	栃木県宇都宮市若草1-10-6		
訪問調査日	平成22年1月25日	評価確定日	平成22年2月25日

【情報提供票より】(平成22年1月5日事業所記入)

(1) 組織概要

開設年月日	平成13年4月1日		
ユニット数	2 ユニット	利用定員数計	18 人
職員数	7 人 8 人	常勤6人, 非常勤1人, 常勤換算7人 常勤8人, 常勤換算8人	

(2) 建物概要

建物構造	鉄骨造り
	1階建ての1階部分

(3) 利用料金等(介護保険自己負担分を除く)

家賃(平均月額)	41,000円 ~43,000円	その他の 経費 (月額)	・理美容代—2,000円、・おむつ代—150円/1枚、 ・日用消耗品—150円/1日、・教養娯楽費—100円/1日、 ・光熱費—350円/1日、・電気代—50円/1日/1点		
敷金	無				
保証金の有無 (入居一時金含む)	無	有りの場合 償却の有無	—		
食材料費	朝食	円	昼食	円	
	夕食	円	おやつ	円	
	または1日当たり		1,380 円		

(4) 利用者の概要(平成22年1月5日現在)

利用者人数	17 名	男性	1 名	女性	16 名
要介護1	5 名	要介護2	3 名		
要介護3	4 名	要介護4	5 名		
要介護5	名	要支援2	名		
年齢	平均 87.15 歳	最低	58 歳	最高	101 歳

(5) 協力医療機関

協力医療機関名	小松原医院、石川歯科医院
---------	--------------

【外部評価で確認されたこの事業所の特徴】

<p>当ホームは、入居者が住み慣れた地域の中で家庭的な落ち着いた穏やかな環境の下で、一人ひとりの人間性を重視した支援を行うことを目的とした5つの基本理念と3つの行動指針に基づいて運営されており、管理者及び職員はこれらの理念や指針を共有し、日々の支援に取り組んでいる。ホーム周辺には田畑や雑木林が広がり季節感を感じられる静かな環境に位置している。隣接している同法人の介護老人保健施設とは看護師や理学療法士等から医療面等での相談やアドバイスの他、災害時の協力体制も構築されている。運営者は職員の育成にも力を入れており、法人内部研修の開催や外部研修には計画的に職員を派遣できるように個別の研修体系が策定され、法人事務局にて管理を行っている。ホーム職員は入居者に常に穏やかに接しながら、本人の意志を尊重した生活支援が行われており、開所時からの職員も多く、入居者との馴染みの関係を大切にしているホームである。</p>

【重点項目への取組状況】

重点項目①	<p>前回評価での主な改善課題とその後の取組、改善状況(関連項目:外部4)</p> <p>評価結果については、定例会等で報告を行い、職員間で協議する等、改善に向けた取り組みに活かしている。</p>
	<p>今回の自己評価に対する取り組み状況(関連項目:外部4)</p> <p>運営者及び管理者は評価の意義や狙いを理解しており、自己評価をととして日々の支援の振り返りの機会となっている。今回の自己評価は全職員で取り組み、ユニット毎にまとめたものを更に管理者がまとめあげて作成した。</p>
重点項目②	<p>運営推進会議の主な討議内容及びそれを活かした取り組み(関連項目:外部4, 5, 6)</p> <p>運営推進会議は2ヶ月に1回開催しており、参加者は入居者、地域包括支援センター職員、町職員、民生委員、管理者、ホーム長等である。会議では、ホーム運営状況や課題等の報告を行う他、参加者からも意見や助言を出してもらっており、ホームの定例会等の場でも会議内容を議題で取り上げる等、運営推進会議をサービスの向上につながる取り組みをしている。</p>
重点項目③	<p>家族の意見、苦情、不安への対応方法・運営への反映(関連項目:外部7, 8)</p> <p>管理者は、家族から何でも遠慮なく意見や要望を言ってもらえる様な関係作りを心がけており、家族の来所時には、意見や要望等の把握に努めている。重要事項説明書の苦情受付窓口は管理者と町担当部署の記載のみであったが、国民健康保険団体連合会と運営適正化委員会を追加する予定であり、苦情や意見等を外部に表す機会も設けている。</p>
重点項目④	<p>日常生活における地域との連携(関連項目:外部3)</p> <p>ホーム周辺には住宅は少ないが、地元の小学校の運動会等への招待や地域のお祭りでは神輿が寄ってくれたり、隣接する同法人主催の納涼祭等の行事には地域住民が参加してくれる等、地域との交流に取り組んでいる。また、自治会には法人として加入し、自治会行事に職員が参加するなど、地域の一員として関係作りにも努めている。</p>

2. 評価結果（詳細）

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
I. 理念に基づく運営					
1. 理念と共有					
1	1	○地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	「入居者の人間性を重視し、居心地のよい生活を営むよう支援し、家庭的な雰囲気の中で生活することにより、安心と喜びそして自信が持てるよう支援し、落ち着いた環境の提供と地域での社会参加を積極的に支援します」という独自の理念をつくりあげている他、「ゆっくり・楽しく・いっしょに」といった行動指針も定めている。		
2	2	○理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	理念や行動指針をホーム内に掲示している他、管理者及び職員は朝夕の申し送り時やミーティングの際に唱和し、共有を図っている。日々の入居者への支援やケアプランの作成時にも理念の確認を行う等、理念の実践に努めている。		
2. 地域との支えあい					
3	5	○地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	ホーム周辺には住宅は少ないが、地元の小学校の運動会等への招待や地域のお祭りでは神輿が寄ってくれたり、隣接する同法人主催の納涼祭等の行事には地域住民が参加してくれる等、地域との交流に取り組んでいる。また、自治会には法人として加入し、自治会行事に職員が参加するなど、地域の一員として関係作りにも努めている。		
3. 理念を実践するための制度の理解と活用					
4	7	○評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	運営者及び管理者は評価の意義や狙いを理解しており、自己評価をとおして日々の支援の振り返りの機会となっている。評価結果については、定例会等で報告を行い、職員間で協議する等、改善に向けた取り組みに活かしている。今回の自己評価は全職員で取り組み、ユニット毎にまとめたものを更に管理者がまとめあげて作成した。		

グループホーム八州苑B館

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
5	8	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	運営推進会議は2ヶ月に1回開催しており、参加者は入居者、地域包括支援センター職員、町職員、民生委員、管理者、ホーム長等である。会議では、ホーム運営状況や課題等の報告を行う他、参加者からも意見や助言を出してもらっており、ホームの定例会等の場でも会議内容を議題で取り上げる等、運営推進会議をサービスの向上につなげる取り組みをしている。		
6	9	○市町村との連携 事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる	管理者は市担当職員へ運営推進会議の場や町役場に訪問するなどして、制度上の相談やホームの課題や空き情報を伝える等、連携に努めている。管理者は町の地域包括支援センターに出向していたこともあり、町職員とは馴染みの関係にあり、研修や防災計画等の情報を教えてもらっている。		
4. 理念を実践するための体制					
7	14	○家族等への報告 事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている	入居者家族への入居者の健康状態や暮らしぶりについての報告は、面会時や電話で行っている他、毎月の請求書送付時に担当職員から書面での報告も行っている。金銭管理については定期的に家族に出納帳の確認をしてもらっている。		
8	15	○運営に関する家族等意見の反映 家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	管理者は、家族から何でも遠慮なく意見や要望を言ってもらえる様な関係作りを心がけており、家族の来所時には、意見や要望等の把握に努めている。重要事項説明書の苦情受付窓口は管理者と町担当部署の記載のみであったが、国民健康保険団体連合会と運営適正化委員会を追加する予定であり、苦情や意見等を外部に表す機会も設けている。		
9	18	○職員の異動等による影響への配慮 運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている	運営者は馴染みの職員による継続的な支援の必要性について理解しており、職員の異動は最小限に留めるようにしている。異動がある場合には、入居者と共に送別会を開く他、後任職員にも入居者が安心感を持てるよう、紹介や引継ぎを充分行い、入居者にダメージが出ないよう取り組んでいる。		

グループホーム八州苑B館

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
5. 人材の育成と支援					
10	19	○職員を育てる取り組み 運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	法人の内部研修は、全職員を対象として感染症対策等の医療や支援面での研修を2ヶ月に1回開催している。外部研修への参加については、法人で職員の勤務年数や職種等を考慮したうえで、参加する順番等を決めており、職員の計画的な育成に取り組んでいる。研修会への参加後はレポートを提出し、定例会で報告することもある。		
11	20	○同業者との交流を通じた向上 運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	県のグループホーム協会に加入しているが、同業者との交流は近隣にある同法人運営の2ホームとの交流が主となっており、他法人事業所との交流は少ない状況にある。管理者は近々、隣接市町との合併があることから、隣接する他法人事業所との交流や関係づくりも検討している。	○	同法人のグループホーム間だけの交流に留まらず、今後、隣接市町合併の機会を活かし、近隣他法人事業所との交流に努め、情報交換や相互訪問等とおして、さらに質の向上を図る取り組みに期待したい。
II. 安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応					
12	26	○馴染みながらのサービス利用 本人が安心し、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気に徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している	入居前には、本人や家族にホームを見学してもらい、ホームでの暮らしぶりや雰囲気等を確認してもらっている。入居後は、本人が不安にならないよう、担当職員が関わりを持つように配慮している他、家族へ面会等の訪問も依頼している。		
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援					
13	27	○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている	地域柄、農業をしていた入居者が多く、職員は入居者に肥料の撒き方、畑や作物の手入れの仕方、料理の味付け、そばやうどんの打ち方、雑巾の縫い方を教わる等、共に学び支え合う関係を築いている。		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
1. 一人ひとりの把握					
14	33	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	ホームでは職員の担当制を取り入れているが、全職員で関われる意識付けをしている。日々の支援やセンター方式アセスメントシート等から本人の思いや意向の把握に努めている。意向の表出が困難な入居者へは、日々の関わりの中での表情や仕草、家族からの情報等を参考に推察することで、本人本位に検討している。		
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し					
15	36	○チームでつくる利用者本位の介護計画 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している	本人や家族の要望を基に医師や看護師等の助言を参考として職員間で話し合いを行い、担当職員が計画原案を作成し、最終的にホーム長や管理者（ケアマネジャー）が作成しており、家族にも説明を行い了解を得ている。		
16	37	○現状に即した介護計画の見直し 介護計画の期間に応じた見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している	介護計画は定期的に評価、モニタリングが実施されている。介護計画の見直しについては3ヶ月毎に行われ、見直し時には、家族から評価をもらい今後の介護計画の作成に活かしている。また、怪我や病気等により入居者の状態に変化が生じた場合は、その都度、職員や関係者と話し合いをして見直しを行い、新たな計画を作成している。		
3. 多機能性を活かした柔軟な支援					
17	39	○事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている	職員は入居者や家族の要望等には、可能な限り対応に努めている。また、隣接する同法人の介護老人保健施設の看護師や理学療法士からは入居者の医療面でのアドバイスが得られる他、災害時の協力体制も構築されており、事業所の多機能性を活かした支援に取り組んでいる。		

グループホーム八州苑B館

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働					
18	43	○かかりつけ医の受診支援 本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	入居時に本人や家族に了解のうえで、かかりつけ医を協力医療機関でもある同法人医院に変更してもらっている。2週間に1回職員の付添いで受診している他、24時間対応・相談が可能であり、適切な医療が受けられるように支援している。なお、その他のかかりつけ医での受診については、家族に付添いをお願いしている。		
19	47	○重度化や終末期に向けた方針の共有 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している	重要事項説明書に重度化した場合や緊急時の対応が記載されている他、「見取りの指針」も作成されており、職員間で方針の共有がされている。重度化した場合や終末期の対応については、本人と家族の意向を尊重しながら、早い段階から主治医等とも相談する機会を作り、本人の状態から最善の支援方法を検討し、希望に添った対応をしていきたいと考えている。		
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
1. その人らしい暮らしの支援					
(1)一人ひとりの尊重					
20	50	○プライバシーの確保の徹底 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない	ホームでは入居者一人ひとりの誇りやプライバシーを尊重しており、入居者への言葉かけや支援方法の配慮に努めている。排泄に失敗した場合には、他の入居者に知られないように居室やトイレで処理している他、個人情報に伴う会話は事務所や居室で行っている。個人の記録等は事務所に保管しており、外部からは見えないようにしている。		
21	52	○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	ホームでは基本的な1日の日課は設けているが、入居者一人ひとりのペースを尊重しており、お伺いを立ててから行動するよう努めている。食事や入浴、起床や就寝、レクリエーションの参加等、本人の希望やペースにより支援している。		

グループホーム八州苑B館

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
(2)その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援					
22	54	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員が一緒に準備や食事、片付けをしている	入居者は食事の準備や後片付け等をできる範囲で職員と一緒にやっている。昼食は職員のうち一人は同じ物を一緒に食べ、他の職員は介助を要する入居者の支援や交代で休憩に入っている。朝や夕食は職員の勤務人数の関係等により入居者とは一緒に食べられない状況にある。おやつや行事の時には全員で食べられるよう工夫している。	○	職員の勤務時間や休憩時間の問題もあると思われるが、ホームの理念「家庭的な雰囲気」や行動指針「いっしょに」にもあるように、職員が常に入居者と共と同じ食事が出来るよう検討していくことを期待したい。
23	57	○入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	入浴は昼食後から夕食前の時間帯で職員の支援のもと、毎日入浴ができるようになっており、入浴の順番や頻度等は入居者の希望に合わせて配慮している。入浴の拒否傾向が強い人には、一人ひとりの希望やタイミングを見計らいながら声かけを行い支援をしている。		
(3)その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援					
24	59	○役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	入居者各々には食事の準備や後片付け、洗濯物たたみ、花の植え替えや草むしり、農作業等の役割やおやつ作り、裁縫、カラオケ、手作りの絵カード等の楽しみ事があり、職員も一緒に作業しながら入居者の楽しむ心を引き出すように心がけている。		
25	61	○日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	天気の良い日にはホーム周辺の散歩や毎月の外食やドライブ、買い物等に出かけている他、隣接する法人の畑での農作業や花壇作り、草むしり等、できるかぎり外出する機会を設け支援をしている。		
(4)安心と安全を支える支援					
26	66	○鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	ホームの裏手には幹線道路があり、近隣で不審者の出没も相次いでいることから、入居者の安全性を考慮し、家族にも了解のうえで玄関を施錠している。外出傾向のある入居者には、職員の見守りにより対応しており、外出の希望があればその都度対応している他、天気の良い日には散歩に出かける等、外出の機会づくりに努めている。	○	施錠に関しては、家族の了解を得たり外出の機会を多くするなどの努力は認められるが、施錠することでの閉塞感や入居者へ及ぼす影響等も踏まえ、安全対策や職員の見守りの方法の構築等、今後も鍵を掛けないケアの可能性について更なる検討を期待したい。

グループホーム八州苑B館

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
27	71	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている	3ヶ月に1回定期的に避難訓練や消火訓練等を実施している。また、消防署員とも連携を図りながら、通報訓練や夜間時の避難方法等の指導も受けている他、隣接する同法人事業所間で災害時に対する協力体制が整備されている。今後、入居者の安全・安心のためにスプリンクラーの設置も予定している。		
(5) その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援					
28	77	○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	隣接する同法人の管理栄養士が献立を作成しており、栄養バランスやカロリーを考慮した献立となっている。食事等の摂取量は毎食後、摂取量を確認し、個別に記録しており、水分の摂取量はセンター方式で記録している。		
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり					
(1) 居心地のよい環境づくり					
29	81	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	共用空間では家庭的な雰囲気を出すため、家具や物品などは家庭で使うものを使用している。季節の花を生けたり、入居者の写真や作品などが掲示されている。リビングルームにはソファ、小上がりの畳スペースには掘りごたつ等が設置されており、入居者が思い思いに過ごす姿が見られた。共用空間は清掃が行き届いており、換気や温度、採光等も適切に管理されている。		
30	83	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	ホームでは入居時等に本人や家族に使い慣れた馴染みの品々の持ち込みを促しており、本人が使い慣れたタンスや三面鏡、ベットやテレビ、こたつや食器類等も持込まれている。また、家族との写真やレクリエーション等で作成した作品が飾られる等、入居者各々の個性が溢れる居室づくりがされている。		

※ は、重点項目。

※ WAMNETに公開する際には、本様式のほか、事業所から提出された自己評価票（様式1）を添付すること。